

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名			
○保護者評価実施期間	R8年 2月 9日		～ R8年 2月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	R8年 2月 9日		～ R8年 2月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 2月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・室内で運動ができるスペース	・室内で走れる環境を設置している。広いため、職員の目が行き届きやすいように壁等を極力排除し、事故等の防止や子どもたちの安全に留意し業務に当たっている。	・楽しく安全に過ごせるように環境整備を徹底していく。
2	・運動器具の充実(吊り下げロープやブランコ等も設置可能)	・器械運動の器具、吊り下げ器具の他、様々な運動器具を準備し、幅広い身体の使い方の体験が出来る。	・なお安全に努めながら、器具の拡充を図り、様々な体験活動を行っていく。
3	・運動活動中心も、児童の様子に応じた活動内容の調整(工作、戸外等)	・各時期によって季節感のある活動計画や、子どもの様子に合わせた活動(就学前等)を、計画している。	・引き続き、児童の様子、希望に沿った活動計画を行っていく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・事業所が建物の2階にあり、バリアフリーの拡充が難しい。		・来客の際など、事前に必ず階段がある、エレベーターがないことなどを必ず伝えている。
2	・集団活動が主となるため、個別対応に限界がある。	・集団活動が主であるため、個別での対応が複数名いた場合、職員数、対応場所を含めて対応の難しさが予想される。	・場所を区別しながら集団、個別対応の環境を設定し、子どもの様子に合った対応を行っていく。
3	・日々の保護者様との連携や保護者会等の開催ができていない。	・送迎の際などでしかお会いできず、保護者様と時間をかけて話すことができていない。	・公式LINEの活用など相談しやすい環境をせている。 ・ニーズに合わせて、保護者会等の企画も行っていく。